

## 【パートナー企業との連携による農作業請負の仕組みづくり①】

- 全農は令和3年4月1日に、パートナー企業として株JTBと農業労働力支援事業にかかる連携協定を締結しました。
- 全農大分県本部が先行実施している農作業請負のノウハウを(株)JTBと共有し、全国に水平展開しています。

### 連携協定の締結

- 締結日：令和3年4月1日
- 目的：農業及び関連産業の活性化に貢献しうる活動を展開すると共に、農作業受委託（請負）を通じて農業労働力に貢献することを目的とする。また、本連携を通じて農業で活躍する人材の育成に努める。
- JT Bの役割：
  - ・JAグループのパートナー企業として、「農作業」を受託し、作業を完遂する。
  - ・地域の観光系施設様を中心にJT Bの取引パートナー等から安定した労働力を確保する。
- 全農の役割：
  - ・農業者の作業ニーズを取りまとめ、JT Bに提供する。
  - ・農作業請負の仕組み（大分モデル）等のノウハウをJT Bに提供する。
  - ・農作業請負を軸に生産基盤を強化する。（栽培面積拡大と農産物販売先確保）

### 期待される効果

- JT B
  - ・JAグループをパートナー企業とした新たな事業展開
  - ・農業労働力支援事業で、地域社会の課題解決と地方創生に貢献
- 全農
  - ・JT Bをパートナー企業とした農業労働力支援事業の全国展開
  - ・販売事業を中心に、JT B関連企業を通じたビジネスチャンス創出

観光系施設を中心とした人々の労働力支援



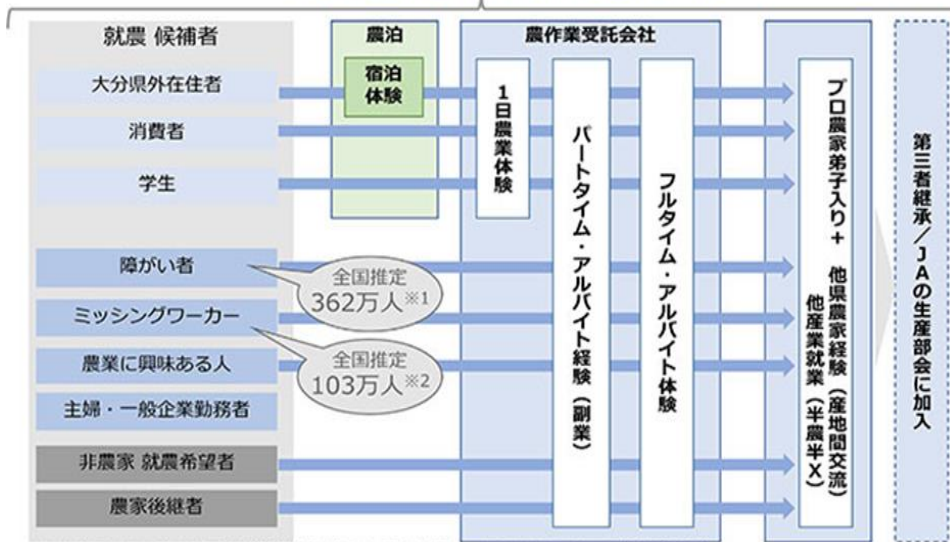
## 【パートナー企業との連携による農作業請負の仕組みづくり②】

- この取り組みにより、多様な人材の農業への参加による生産基盤（農業就業者・作付面積等）の維持を図ります。
- 農作業請負は、作業スキルが“パートナー企業”に蓄積され、継続的な支援が可能になります。
- 農村部の人口減少（農業労働力の人手不足）の流れが今後もさらに進むことを踏まえ、必要な人手を人口規模を有する都市部から農村部への移動による農作業支援に取り組みます。

### 先行実施する大分県本部の取組概要

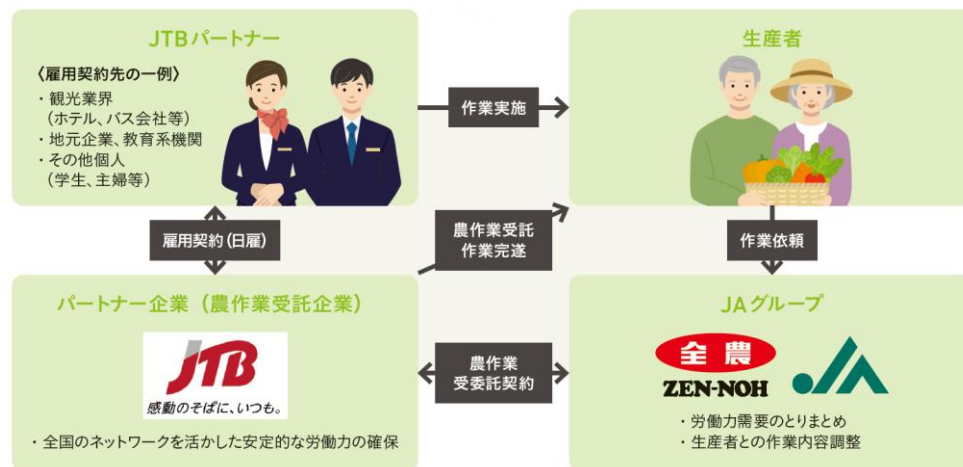
JA全農おいたは、「初心者からプロ農家志望者まで、一人一人にマッチした農業機会をマッチングします」  
農作業受託会社は、「大分県農家中心に一直線ではない、多様な就業形態を提供します」

#### JA全農おいたがマッチング&プロデュース



※1 障がい者937万人のうち雇用施策対象者（2018，農水省資料） ※2 NHKスペシャル報道（2018）

### JTBと連携した農作業請負のスキーム



※各地域の観光業界を中心に地元企業、教育系機関、その他個人（学生、主婦等）から多様な人材を確保し、労働力を提供していく。